

ニホンジカによる植生被害対策について

環境部自然保護課

◎ 平成 20 年度事業

○防護対策（電気柵の設置 H20. 7. 11 ～ H20. 11. 5）

八島ヶ原地区、富士見台地区に計 1,600mの電気柵を設置

○シカの行動追跡

- ・行動追跡調査（信州大学へ調査業務委託）

20頭のニホンジカに発信器を装着して、行動を追跡

- ・植生被害状況調査（環境保全研究所）
- ・ライトセンサス調査（環境保全研究所）



○シカの行動と防護効果の検証

○ 平成 20 年度調査結果（ニホンジカ行動追跡 20 頭）

【草原利用状況】

- ・すべての個体が、春季～夏季に霧ヶ峰の草原域（標高 1600m 以上）を利用。
- ・主に日中森林、夜間草原を利用する。しかし、一日を通して草原を利用する個体も認められた。

【電気柵の影響】

《富士見台》

- ・電気柵の設置箇所よりも上部斜面は利用していなかった。

《八島ヶ原湿原東》

- ・電気柵設置後に電気柵を 1 回通過する行動が見られたが、その後、森林と草地間の移動は電気柵を回避。
- ・電気柵設置後、移動ルートを回避させたものの、草原を恒常的に利用。

【季節移動】

- ・11 頭が霧ヶ峰以外の場所で越冬する移動型であり、6 頭は冬季も霧ヶ峰で確認された。
- ・移動範囲は霧ヶ峰の直下から下諏訪町、長和町、八ヶ岳山麓までと様々。

◎ 平成 21 年度対策

○防護対策（電気柵の設置設置箇所：八島ヶ原湿原北部地区、富士見台地区（2箇所 1,600m）

設置時期：富士見台地区 5月29日

八島ヶ原湿原北部地区 6月22日

参加者：牧野組合、市町村、自然保護センター、県

○シカの行動追跡と防護効果の検証

- ・ 行動追跡調査
- ・ 植生影響調査（環境保全研究所）
- ・ ライトセンサス調査（同上）

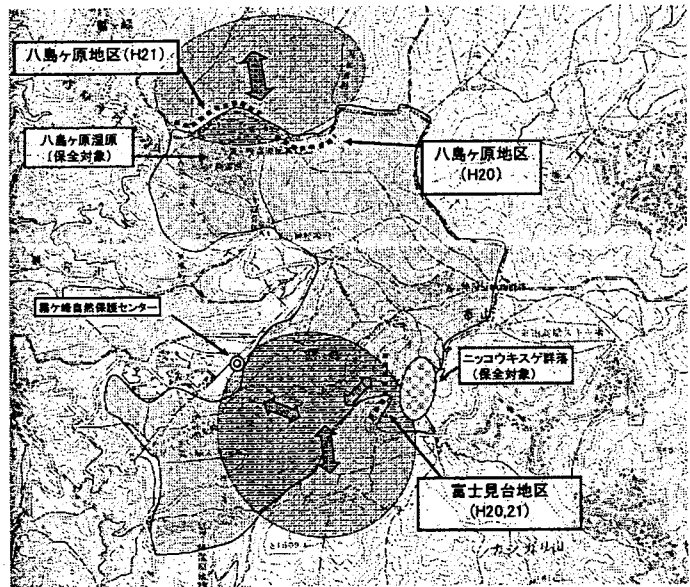
○自然公園管理員の設置

設置内容：1名、霧ヶ峰に常駐

設置期間：5月～10月（6ヶ月間）

業務内容：

- ・ 防護柵の設置・メンテナンス
- ・ シカ行動追跡調査の補助
- ・ 自然公園内の環境整備（ゴミ対策）他



電気柵設置図